

## 障害者スポーツ研究開発推進事業 基礎研究 子ども用歩行器を試作開発 ～スポーツにも利用可能な歩行器の普及を目指して～

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、障害をもつ子どもが運動を楽しめるように、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機として、日本の生活環境に適した「**子ども用歩行器**」を試作開発しました。

### 散歩やレクリエーションを楽しむことができる歩行器の試作開発

海外では、子どもが歩行器を利用して日常生活を送っており、また、サッカーなどのスポーツをすることも珍しくありません。しかし、日本ではスポーツはもちろんのこと、街中で歩行器を目にする機会はほとんどなく、主に歩行訓練用として病院などの施設内で利用されています。

そこで、都産技研では、障害を持つ子どもが新たなチャレンジとして、散歩やレクリエーションに参加できるような「子ども用歩行器」を試作開発しました。

#### ○開発のポイント1「アンケートによる利用実態調査」

全国800以上の発達支援センター、特別支援学校などの施設、300名を超える理学療法士、また各施設を利用する保護者への利用実態調査を実施（首都大学東京・新田収教授との共同研究）。現状の歩行器の問題点を分析し、得られた結果を開発歩行器の機能、デザインなどに反映。

#### ○開発のポイント2「操作のしやすさ」

ハンドルを持ち上げて固定輪である前輪を浮かし、中央輪を中心として車体を旋回（方向転換）できる、小回りの利く6輪歩行器を試作（特許出願中）。力の弱い子どもでも容易に操作可能。

#### ○開発のポイント3「小型化・折り畳み」

子どもの身体情報や、屋内事情など日本特有の利用環境を考慮し、安定性を損なうことなく車体を小型化。また、小さく折り畳み、従来の寝かせ置きではなく、自立した状態で収納可能。

◆2019年度末の商品化を目指し、共同研究  
・開発を行っていただける福祉機器製造・販売の実績を持つ企業を募集しています。

使用時



収納時

（全長600×幅400×高さ520mm）



#### 試作開発した6輪歩行器

ハンドル高さ(440～580mm)・ハンドル間幅(250～330mm)は  
利用状況により調整可能

#### 【お問い合わせ】

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

開発本部開発企画室 三尾 淳 TEL 03-5530-2558 FAX 03-5530-2400  
経営企画部経営企画室 竹内 由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<https://www.iri-tokyo.jp/>

